

山行報告書

作成:2014年1月15日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	入道ヶ岳(906m) [鈴鹿中部]	目的[方法]	初詣
期間	2014年1月11日(土)	形態	周回 日帰りハイキング
参加人数	5人		

行動記録:

◇O氏宅(6:00) == 豊明IC(6:30) =0:55= 鈴鹿IC(7:00) =樺大神社P(7:30 8:00) -0:25-北尾根取り付き-0:50-北尾根鞍部(9:00)-1:10-北ノ頭-0:10-入道ヶ岳(10:50 奥ノ院 11:05 11:50)-二本松尾根 -0:40-滝谷道分岐-0:30-井戸谷の河原-0:15-樺大神社P(13:30 14:30)=0:10=鈴鹿さつき温泉(14:15 15:15)=(0:30)=鈴鹿IC(15:45)=0:40=豊明IC(16:25)=0:30=O氏宅(16:55)



概念図:

日誌:

天候はまずまずで思ったより寒くない。湾岸に乗り順調に走っていたが、四日市IC付近で2キロの渋滞にはまる。鈴鹿ICで降り、樺大神社横のPに止める。早朝でも参拝客が結構いる。積雪を期待して冬靴スパツで樺大社から5分ほど歩いた参道の階段下に行き準備体操を行う。名前の通り、奉納された樺の苗木が多く植わっている。階段を避け、う回路を登るが、大変急な登りである。北尾根取り付きに着きほっとする。そのまま尾根を30分ほど歩く。所々に遭難報告のためか、ポイントナンバーが記された立札が立っている。報告ポイント3の点で道間違えをする。標高498mの点付近で急なぐらで道が視界になく、前に広い道が広がっていたために見落としてしまった。間違っ下った道を登り返し、よく見ればなんだというポイントである。急な坂を下り、鞍部に出て一気に北の頭に向けて登る。予想していた以上に雪が少なく、少し落胆。しかし、北の頭付近になると積雪5cmぐらいあり雪原が広がっており気持ちが良い。遠く鎌が岳、御在所を望むことができた。

入道ヶ岳は馬酔木の群落で有名である。北の頭付近から頂上にかけて、馬酔木の群落が続く。今年の花芽の付きは良好で、赤や白の小さなつぼみがたくさん付いている。4月上旬には咲乱れることであろう。奥宮で昼食を摂る。風が当たらず絶好の場所である。頂上付近は馬酔木と草原のみで風当たりが強い。鳥居の前で記念撮影をして二本松尾根を下り、こちらからの登山客の方が多い。

下山後は、樺大社で当初の目的通りに願掛けをした。その後鈴鹿さつき温泉に入り帰路につく。岡崎には5時前に着き、いつもながら鈴鹿は近くて楽しめる所だと実感した。春に馬酔木の咲くころにまた出かけたいものだ。

感想:入道ヶ岳は鈴鹿の中でも余り人が入らず、静かな山である。また、道の選択で違った景色を楽しめるし、季節によって違った雰囲気も楽しめると思う。日帰り派としては、更に色々な道を極めていきたいものだ。

参加者名